

(様式7)

公共事業継続箇所評価調査

評価確定日(平成25年09月30日)

事業コード	H25-建-継-10		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	1次改築(橋梁架替)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	(主) 大曲大森羽後線		担当課長名	柴田 公博
箇所名	大仙市大曲(大曲橋)		担当者名	齋藤 篤
総合計画との関連	政策コード	17	政策名	新たな生活圏の創造
	施策コード	04	施策名	地域内交通の整備
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県道の整備推進

1. 事業の概要

事業期間	H16 ~ H28 (13年)		総事業費	63.6億円	国庫補助率	7/10
事業規模	延長L=1,334m 幅員W=6.0(16.0)m					
事業の立案に至る背景	<p>本路線は、大仙市の西部生活圏から中心都市部へ通勤、通学、通院等の日常生活を支援する重要な路線である。また、秋田自動車道「大曲IC」及び大仙市総合公園と市中心部を連絡する道路の一部をなす路線である。</p> <p>しかし、当該区間は車道幅員が5.0mと狭小であるうえ、大曲橋は架橋後約70年が経過しているため経年劣化による老朽化が著しく、通行不能に陥る可能性がある。このため、老朽橋架替えによる安全で円滑な交通の確保を図るため、道路整備を行うものである。</p>					
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の防災対策・危機管理の充実(老朽橋架替え) ・物流の効率化の支援(秋田自動車道「大曲IC」) ・地域作りの支援(市町村合併支援) 					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		8,300,000	6,354,000	-1,946,000	
	経費内訳	工事費	5,890,000	4,016,000	-1,874,000	橋梁部の路肩幅員の見直しによる減
		用補費	1,830,000	1,926,000	96,000	不動産鑑定や建物調査結果による増
		その他	580,000	412,000	-168,000	事業費減による事務費の低減等
	財源内訳	国庫補助	4,565,000	4,448,000	-117,000	
		県 債	3,548,000	1,716,000	-1,832,000	
その他		0	0	0		
事業内容		調査・設計、用地補償、橋梁工、改良工、舗装工	調査・設計、用地補償、橋梁工、改良工、舗装工		国の制度改正により補助率が変更となった。	
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年8月11日供用開始(本線部)。 ・河川協議の結果、今後3カ年で旧橋の撤去工事を実施することとなり、事業完了年度を1年延伸する(当初計画は2カ年での撤去、H27での完了)。 					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと秋田元気創造プラン「地域医療などを支える救急ネットワークの整備」 ・大仙都市計画(都市計画道路上栄線 H16.8.20告示) 					
情勢の変化及び長期継続の理由	特になし					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	県道改良率				
	指標式	改良済延長/路線実延長				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	72 %	データ等の出典	道路課調べ		
	実績値 b	72 %				
達成率 b/a	100.0 %	把握の時期	平成25年4月			

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該区間は、幅員狭小（車道幅員5.0m）で冬期堆雪幅が確保されておらず、道路構造上の欠陥箇所が存在する。 ・通学路指定路線であるが歩道がなく、通学児童及び生徒をはじめ地域住民の安全確保のため、早急な整備が必要である。 ・事故率は346件/億台kmと非常に高い。 	10点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ・大曲橋は昭和13年架設（架橋後約70年）の老朽橋であり、劣化・老朽化が顕著であるうえ設計強度及び耐震力が大幅に不足している。全国花火競技大会の会場でもあり緊急時の通行確保のためにも橋梁の架替えを含めた整備が早急に必要である。 ・市町村合併支援道路としての機能を有する。 	12点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ・大仙市西部生活圏から中心都市部への通勤・通学・通院等に利用され、地域住民にとって極めて重要な生活道路であるとともに、秋田自動車道大曲ICと市中心部を連絡するアクセス道路であり、安全で円滑な交通を確保する上で整備後の有効性は高い。 	30点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の費用便益は1.5である。 総費用の現在価値 69億円 総便益の現在価値 103億円 ・計画交通量は5,800台（H42）となっている。 ・橋梁部路肩幅員を1.5mから0.5mに縮小し、コスト縮減を図っている。 	20点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年8月11日供用開始（本線部）。 ・今後3カ年で旧橋の撤去工事を実施予定。 ・平成25年度末で事業進捗率86%に達する見込みである（用地進捗率100%）。 	20点
判 定	ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III) 優先度は高く、事業は引き続き実施するべきである。	92点
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

引き続きコスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

事業コード (H25-建-継-10)
箇所名 (大仙市大曲 (大曲橋))

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>5% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	6		
			2箇所	6			
			1箇所	4			
			0箇所	0			
			計	15			
		道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≥1.0 ・現道の旅行速度≤30km/h ・現道の事故率≥50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生	5件該当	7			
			4件該当	6			
			3件該当	5			
			2件該当	4			
			1件該当	2			
			該当項目なし	0			
			計	15			
緊急性	道路をとりまく環境等	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	4	4		
			なし	0			
			計	4			
		市町村合併支援道路	位置づけあり	3	3		
			位置づけなし	0			
		交通量	増加している	3	0		
			増加していない	0			
		特有の課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等	あり	5	5		
			なし	0			
		計	15	12			
		有効性	道路の位置づけ	生活圏30分形成道路等	該当する	7	7
					該当しない	0	
救急医療施設へのアクセス道路	該当する			7	7		
	該当しない			0			
地域防災計画上重要な道路	該当する			7	7		
	該当しない			0			
社会変化による事業の必要性	必要性が高い			9	9		
	低下傾向			6			
	必要性が低い			3			
計	30			30			
効率性	事業の投資効果等			費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5
					1.0未満	0	
		計画交通量	5,000台/日以上	5	5		
			1,000台/日以上~5,000台日/未満	3			
			1000台日/未満	0			
		コスト縮減	あり	5	5		
			なし	0			
		事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5		
			既投資額の部分的損失	4			
			既投資額の損失が少ない	3			
		計	20	20			
		熟度	事業の進捗状況	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	10
5割以上完了	8						
1割以上完了	5						
1割未満	2						
計	20						
用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了			10	10		
	5割以上完了			8			
	1割以上完了			5			
	1割未満			2			
	未着手			0			
計	20			20			
合計						100	92

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		